

第18回

日本医薬品情報学会 総会・学術大会

エビデンス創出のための医薬品情報



平成27年

会期

6月27日(土)・28日(日)



会場

岡山大学創立50周年記念館・一般教育棟

大会長挨拶



大会長
千堂 年昭
岡山大学病院 教授
岡山大学病院 薬剤部長

第18回日本医薬品情報学会総会・学術大会を2015年6月27日(土)、28日(日)の両日、“エビデンス創出のための医薬品情報”をテーマにして、岡山大学津島キャンパスを会場にして開催することとなりました。

医薬品情報は、薬剤師にとって50年あまりに渡る歴史のある重要な業務分野であり、医薬品情報学としての学問体系が確立して、もうすぐ20年になります。最近の医療技術の進歩や薬剤師を取り巻く業務内容の大きな変化の中、改めてその方向性を考える時であると思います。

ますます薬剤師業務が拡大していく中で、これまでの“つくる・つたえる・つかう”ということで議論されてきたことに、その次に再びエビデンスを“つくる”を続けることで、医薬品情報を基盤とした更なる研究・業務の発展に繋がる事を願っております。

また、今回は本会が中国・四国初の開催となりますので、中国・四国9県の皆様の協力を得ることで、総会・学術大会全体を盛り上げていきたいと考えます。

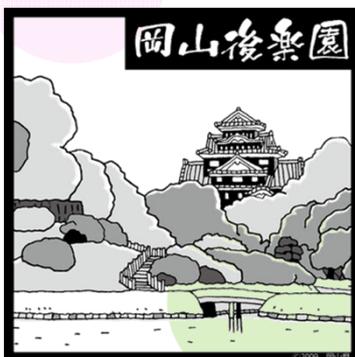
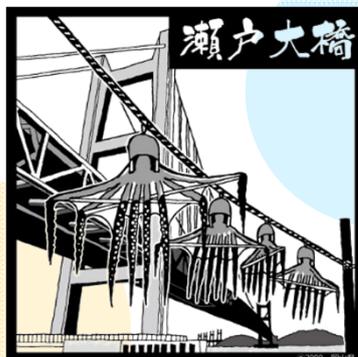
今回の学会を通して皆様方の良き交流の機会となり、医薬品情報学の更なる発展に寄与できることを願っております。



岡山県は気候が温暖で果物や魚の幸がたくさん！

岡山市内には日本3名園の後楽園があります。

少し東に足を向ければ備前焼の郷、西隣には大原美術館や白壁の美しい美観地区もあります。この機会に岡山観光もぜひお楽しみください。



シンポジウム

◎シンポジウム1◎

拡大する薬剤師業務と医薬品情報業務の連携
(エビデンス創出のための医薬品情報)



◎シンポジウム2◎
リスク管理計画 (RMP) を効果的に実践する
～薬物治療を受けている患者のリスク最小化に向けて～

◎シンポジウム3◎

薬薬連携における医薬品情報の加工、伝達、供給の工夫



◎シンポジウム4◎
コアカリキュラムの改訂と**薬学教育**・実務実習における医薬品情報活用を考える

◎シンポジウム5◎

医療情報DBを中心とした**メガデータ**の対応を考える



◎シンポジウム6◎
● **海外**における薬剤師の医薬品情報提供・活用状況

CASPワークショップ

6月27日 (土) 9時～12時

コクランの
システマティックレビューを
読もう!!

詳しくはホームページで
→ <http://www.jasdi.jp/c/18th/>

CASP (Critical Appraisal Skills Programme) の目的は、医療や保健の現場で判断をする職種に就いている人だけでなく、その判断に関わるすべての人が、その根拠をわきまえた上で判断し行動できるように支援することです。



他にもいろいろ



学会事務局

<岡山大学病院 薬剤部>

〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町2-5-1

実行委員長 北村 佳久

運営事務局

<株式会社共同>

〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1

TEL: 086-250-7681 FAX: 086-250-7682

Email: jasdi18@kyodo-mice.jp

担当/西村 幸宏